



平成 27 年 4 月 13 日

各 位

会社名 株式会社石井表記  
代表者名 代表取締役 石井 峯夫  
(コード番号 6336 東証第2部)  
問合せ先 取締役 渡邊 伸樹  
管理本部長  
(TEL 084-960-1247)

(訂正)「平成 25 年 1 月期 第 3 四半期決算短信[日本基準] (連結)」の  
一部訂正について

平成 24 年 12 月 13 日に開示いたしました「平成 25 年 1 月期 第 3 四半期決算短信[日本基準] (連結)」について、訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正理由

訂正理由につきましては、本日、別途開示いたしました「過年度決算短信等の訂正および平成 27 年 1 月期決算短信の開示が期末後 50 日を超えたことに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正内容

訂正箇所には下線を付しております。

<サマリー情報>

(訂正前)

1. 平成 25 年 1 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 1 月期第 3 四半期	6,110	△40.0	31	—	△105	—	768	—
24 年 1 月期第 3 四半期	10,188	△22.5	△2,839	—	△2,875	—	△9,204	—

(注) 包括利益 25 年 1 月期第 3 四半期 777 百万円 (－%) 24 年 1 月期第 3 四半期 △9,204 百万円 (－%)  
(省略)

(訂正後)

1. 平成 25 年 1 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 24 年 2 月 1 日～平成 24 年 10 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 1 月期第 3 四半期	6,110	△40.0	32	—	△105	—	768	—
24 年 1 月期第 3 四半期	10,188	△22.5	△2,839	—	△2,875	—	△9,204	—

(注) 包括利益 25 年 1 月期第 3 四半期 777 百万円 (－%) 24 年 1 月期第 3 四半期 △9,204 百万円 (－%)  
(省略)

## <添付資料>

### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

##### (訂正前)

(省略)

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は61億10百万円（前年同期比40.0%減）となり、営業利益は31百万円（前年同期は28億39百万円の営業損失）、経常損失は1億5百万円（前年同期は28億75百万円の経常損失）となり、外注先より保証債務の一部弁済を受け債務保証損失引当金を取崩したこと、債務（未払金）の一部について債権者と交渉の結果、平成24年7月12日付で「債務償還に関する覚書」を締結し、当社が債務の一部弁済を行ったことにより314,594千円の債務免除を受けたことなどから、四半期純利益は7億68百万円（前年同期は92億4百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(中略)

##### (ディスプレイおよび電子部品)

平成20年に遊技機の規制が実施され、パチスロ市場は大幅に縮小いたしました。パチスロ機の人気は徐々に回復し、当社の売上高も増加いたしました。今後も好調に推移していくことが期待されます。工作機械、産業用機械については、国内需要の不振や中国市場の低迷、円高による価格競争力の低下により、当社スイッチパネルの販売は減少いたしました。

その結果、売上高は36億57百万円（前年同期比41.7%増）、営業利益は4億7百万円（前年同期比3,183.4%増）となりました。

(省略)

##### (訂正後)

(省略)

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は61億10百万円（前年同期比40.0%減）となり、営業利益は32百万円（前年同期は28億39百万円の営業損失）、経常損失は1億5百万円（前年同期は28億75百万円の経常損失）となり、外注先より保証債務の一部弁済を受け債務保証損失引当金を取崩したこと、債務（未払金）の一部について債権者と交渉の結果、平成24年7月12日付で「債務償還に関する覚書」を締結し、当社が債務の一部弁済を行ったことにより314,594千円の債務免除を受けたことなどから、四半期純利益は7億68百万円（前年同期は92億4百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(中略)

##### (ディスプレイおよび電子部品)

平成20年に遊技機の規制が実施され、パチスロ市場は大幅に縮小いたしました。パチスロ機の人気は徐々に回復し、当社の売上高も増加いたしました。今後も好調に推移していくことが期待されます。工作機械、産業用機械については、国内需要の不振や中国市場の低迷、円高による価格競争力の低下により、当社スイッチパネルの販売は減少いたしました。

その結果、売上高は36億57百万円（前年同期比41.7%増）、営業利益は4億7百万円（前年同期比3,184.9%増）となりました。

(省略)

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

#### (訂正前)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、太陽電池ウエーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。当第3四半期連結累計期間においては、損益面では31,897千円の営業利益および768,769千円の四半期純利益を計上しました。また、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資1,659,220千円の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、四半期純利益の計上は、債務免除益等の特別利益によるところが大きく、経常損益段階では105,973千円の損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことを鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

#### (訂正後)

当社グループは、前連結会計年度におきまして、太陽電池ウエーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。当第3四半期連結累計期間においては、損益面では32,086千円の営業利益および768,769千円の四半期純利益を計上しました。また、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資1,659,220千円の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、四半期純利益の計上は、債務免除益等の特別利益によるところが大きく、経常損益段階では105,973千円の損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことを鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
長期未収入金	1,402,629	1,364,804
その他	2,086,792	<u>879,588</u>
貸倒引当金	<u>△2,835,488</u>	<u>△1,700,893</u>
投資その他の資産合計	<u>653,933</u>	<u>543,499</u>
固定資産合計	<u>6,123,054</u>	<u>5,787,577</u>
資産合計	<u>11,532,173</u>	<u>11,039,953</u>
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
(中略)		
投資その他の資産		
長期未収入金	1,402,629	1,364,804
その他	2,086,792	<u>879,776</u>
貸倒引当金	<u>△2,835,488</u>	<u>△1,701,082</u>
投資その他の資産合計	<u>653,933</u>	<u>543,499</u>
固定資産合計	<u>6,123,054</u>	<u>5,787,577</u>
資産合計	<u>11,532,173</u>	<u>11,039,953</u>
(省略)		

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)
売上高	10,188,559	6,110,306
売上原価	9,759,996	4,456,577
売上総利益	428,562	1,653,728
販売費及び一般管理費	3,268,556	1,621,830
営業利益又は営業損失(△)	△2,839,993	31,897
(中略)		
営業外費用		
支払利息	69,205	84,001
為替差損	67,892	—
遅延損害金	—	58,342
その他	15,474	71,376
営業外費用合計	152,572	213,720
経常損失(△)	△2,875,358	△105,973
(省略)		

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)
売上高	10,188,559	6,110,306
売上原価	9,759,996	4,456,577
売上総利益	428,562	1,653,728
販売費及び一般管理費	3,268,556	1,621,642
営業利益又は営業損失(△)	△2,839,993	32,086
(中略)		
営業外費用		
支払利息	69,205	84,001
為替差損	67,892	—
遅延損害金	—	58,342
貸倒引当金繰入額	—	188
その他	15,474	71,376
営業外費用合計	152,572	213,908
経常損失(△)	△2,875,358	△105,973
(省略)		

(3) 継続企業の前提に関する注記

**(訂正前)**

当社グループは、前連結会計年度におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。当第3四半期連結累計期間においては、損益面では 31,897 千円の営業利益および 768,769 千円の四半期純利益を計上しました。また、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資 1,659,220 千円の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、四半期純利益の計上は、債務免除益等の特別利益によるところが大きく、経常損益段階では 105,973 千円の損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことを鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

**(訂正後)**

当社グループは、前連結会計年度におきまして、太陽電池ウェーハ事業の大幅な縮小に伴う多額の当期純損失を計上したことにより債務超過となりました。当第3四半期連結累計期間においては、損益面では 32,086 千円の営業利益および 768,769 千円の四半期純利益を計上しました。また、取引金融機関による優先株式の第三者割当増資 1,659,220 千円の実施および債務免除等により債務超過は解消されました。しかしながら、四半期純利益の計上は、債務免除益等の特別利益によるところが大きく、経常損益段階では 105,973 千円の損失を計上しており、本格的な業績の回復を確認できるまでに至っていないことを鑑み、依然として継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものと認識しております。

(省略)

(4) セグメント情報等

(訂正前)

(省略)

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	電子機器部 品製造装置 (千円)	ディスプレ イおよび電 子部品 (千円)	太陽電池 ウェーハ (千円)	計 (千円)		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,352,019	3,657,589	100,697	6,110,306	—	6,110,306
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,352,019	3,657,589	100,697	6,110,306	—	6,110,306
セグメント利益又は損失(△)	△488,059	<u>407,103</u>	112,853	<u>31,897</u>	—	<u>31,897</u>

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(省略)

(訂正後)

(省略)

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年2月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	電子機器部 品製造装置 (千円)	ディスプレ イおよび電 子部品 (千円)	太陽電池 ウェーハ (千円)	計 (千円)		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,352,019	3,657,589	100,697	6,110,306	—	6,110,306
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,352,019	3,657,589	100,697	6,110,306	—	6,110,306
セグメント利益又は損失(△)	△488,059	<u>407,292</u>	112,853	<u>32,086</u>	—	<u>32,086</u>

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(省略)

以上